

保健課・勝英地域保健課

平成30年度 美作保健所運営協議会 配付資料

1 健康づくり



すべての県民が明るい笑顔で暮らす
岡山の実現

県民の健康を支援する環境づくりの推進

目的を共有しそれぞれの役割に応じた事業の推進
(地域・家庭・学校・職域)

↑
市町村

ヘルスプロモーションの推進
住民参加の健康づくり
各種保健事業

↑
県・保健所

健康に関する調査・分析
市町村の健康づくり推進支援
関係団体等との連携
広域的・専門的保健事業

↑
関係団体

健康づくり活動への
積極的な参加と支援

(1) 第2次健康おかやま21 セカンドステージの推進 ～健康長寿社会の実現を目指して～

- ◆平均寿命の延伸を上回る健康寿命の延伸
 - ・生活習慣病の発症予防と重症化予防
 - ・社会生活を営むために必要な心身機能の維持及び向上
 - ・健康を支え、守るための社会環境の整備
- ◆計画の期間 平成30年4月～平成34年3月

岡山県の現状

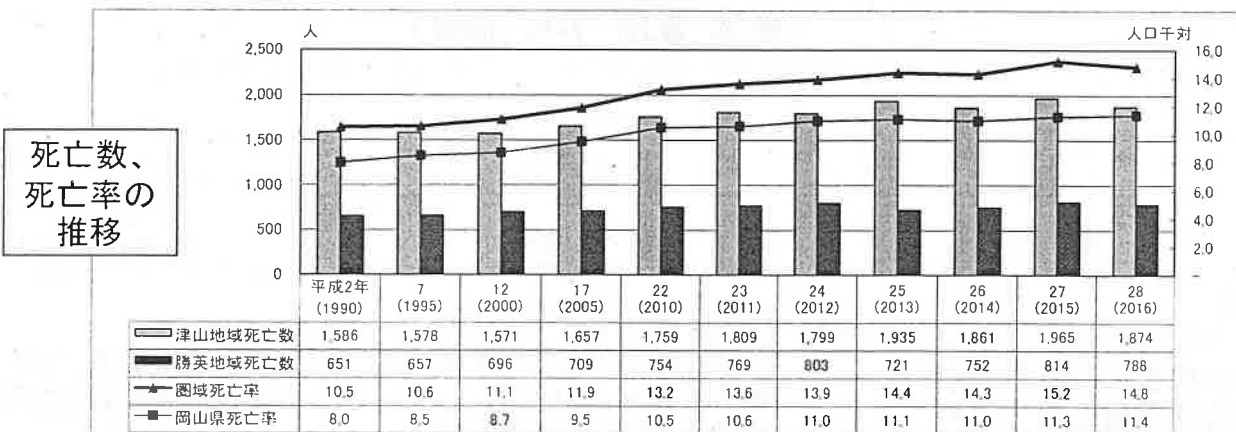
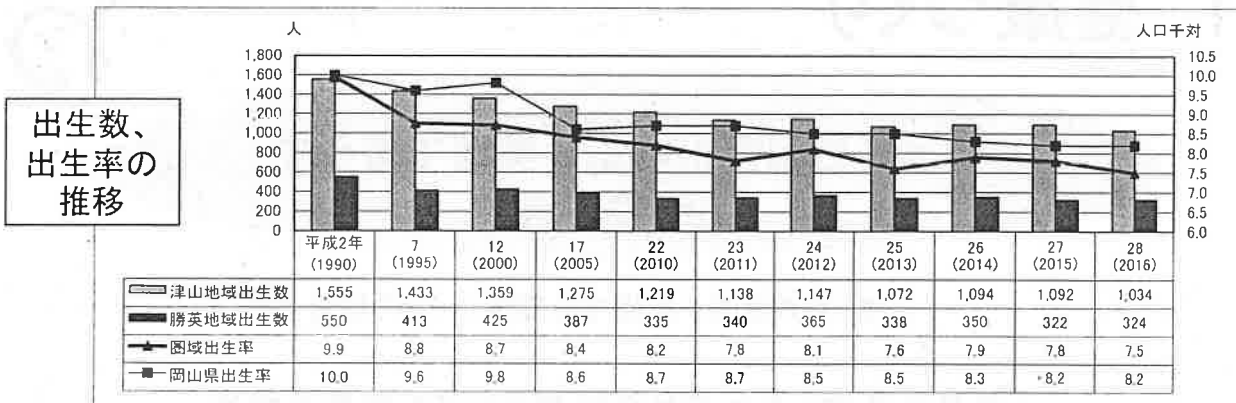
- ・平均寿命: 男性81.03歳 女性87.67歳 (厚生労働省 平成27(2015)年 都道府県別生命表)
- ・健康寿命 ①日常生活に制限のない期間の平均・・・男性71.10歳 女性73.83歳
- ②自分が健康であると自覚している期間の平均・・・男性71.17歳 女性74.99歳
- ③日常生活が自立している期間の平均・・・男性78.80歳 女性83.34歳

◆今年度の管内における健康づくりの推進

生活習慣病予防と重症化予防、健康づくりのための環境整備の充実に各関係機関連携し取り組み、健康寿命の延伸を図る。

3

(2) 美作保健所管内の出生・死亡の状況



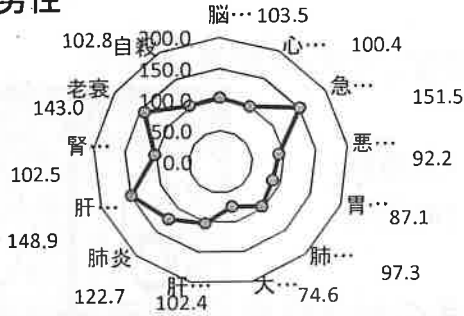
資料:厚生労働省「人口動態統計」

(3) 美作保健所管内の標準化死亡比(H20年～24年)

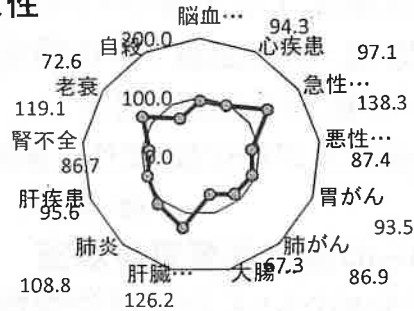
男性		区分	全死亡	悪性新生物				心疾患		脳血管疾患	肺炎	肝疾患	腎不全	老衰	自殺
				胃がん	大腸がん	肝臓がん	肺がん	急性心筋梗塞							
								急	慢性						
圏域	103.9	92.2	87.1	74.6	102.4	97.3	100.4	151.5	103.5	122.7	148.9	102.5	143.0	102.8	
岡山県	97.3	93.1	87.1	77.8	105.5	99.1	91.6	121.2	99.2	109.6	100.8	96.3	94.1	92.2	

女性		区分	全死亡	悪性新生物				心疾患		脳血管疾患	肺炎	肝疾患	腎不全	老衰	自殺
				胃がん	大腸がん	肝臓がん	肺がん	急性心筋梗塞							
								急	慢性						
圏域	95.5	87.4	93.5	67.3	126.2	86.9	97.1	138.3	94.3	108.8	95.6	86.7	119.1	72.6	
岡山県	94.8	90.1	93.8	78.2	108.1	86.9	93.2	118.6	96.4	106.9	85.5	99.3	91.7	80.4	

男性



女性



資料:厚生労働省「人口動態統計」

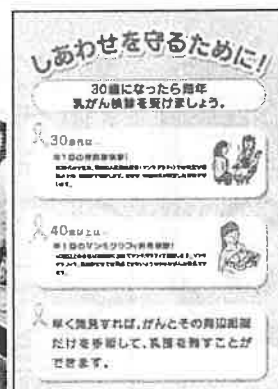
(4) 市町村健康増進計画・データヘルス計画の推進

- 各市町村の健康増進計画の中間評価や策定に参画
- 特定健診・保健指導、がん検診の受診促進

◆乳がん・子宮頸がん検診受診促進キャンペーン

女性のがん予防キャンペーン

愛育委員と協働し、受診の呼びかけ、乳がん触診モデルの触診体験、保健師による自己検診方法の指導、受診啓発チラシの配布



(5) たばこ対策の推進

◆「健康増進法の一部を改正する法律」が平成30年7月25日に公布

(施設等の類型・場所に応じ、東京オリンピック・パラリンピック開催の2020年4月までに段階的に施行)

<改正の趣旨>

望まない受動喫煙の防止を図るため、多数の者が利用する施設等の区分に応じ、当該施設等の一定の場所を除き喫煙を禁止するとともに、当該施設等の管理について権限を有する者が講ずべき措置等について定める。

基本的な考え方 第1:「望まない受動喫煙」をなくす

第2: 受動喫煙による健康影響が大きい子ども、患者等に特に配慮

第3: 施設の類型・場所ごとに対策を実施

◆禁煙・完全分煙実施施設の認定

・受動喫煙を防止する環境づくりを推進する

保健・医療・福祉施設、教育関係機関、官公庁、その他事務所等の

「禁煙・分煙実施施設」認定

平成29年度末の認定数: 美作保健所本所管内 251施設

勝英支所管内 141施設

◆たばこからの健康影響普及講座

喫煙をやめたい人の支援や喫煙防止教育等の健康教育



(6) 健康づくりの環境整備

◆「栄養成分表示の店」登録事業

○「栄養成分表示の店」とは・・・

県民のみなさんが外食する時に栄養成分を知り、健康づくりに役立つよう、メニューに含まれている1人前あたりの栄養成分を表示し、健康に配慮したメニューやサービスに取り組み、岡山県が登録したお店のこと



↑ 登録証(ステッカー)

平成30年3月末 県内で 1,144店舗
(平成34年 2,000店目標)

栄養成分	
エネルギー	450kcal
たんぱく質	20g
脂質	10g
炭水化物	70g
食塩相当量	7g

減量中だからエネルギーが表示してあるとメニュー選びの参考になるわ

血圧が高いから、食塩量がわかると助かるよ

(7) 食育の推進

健康な人づくり・地域づくりを推進するために、ライフステージに応じた食育を関係団体と連携しながら実施する。

◆栄養委員と協働した高校生への食育活動

朝食等食事内容の充実と進学・就職で一人暮らしをはじめても、健康に配慮した食生活が送れるように、知識や技術を伝授した。

【H29実績】

○満足一人ご飯の講座(美作保健所)

内容 クッキング・栄養クイズ
開催回数 1回
参加者 高校1年生38名



○食と健康教室(勝英支所)

内容 寸劇「今の食事でいいの？」
 栄養クイズ
開催回数 1回
参加者 高校1年生121名

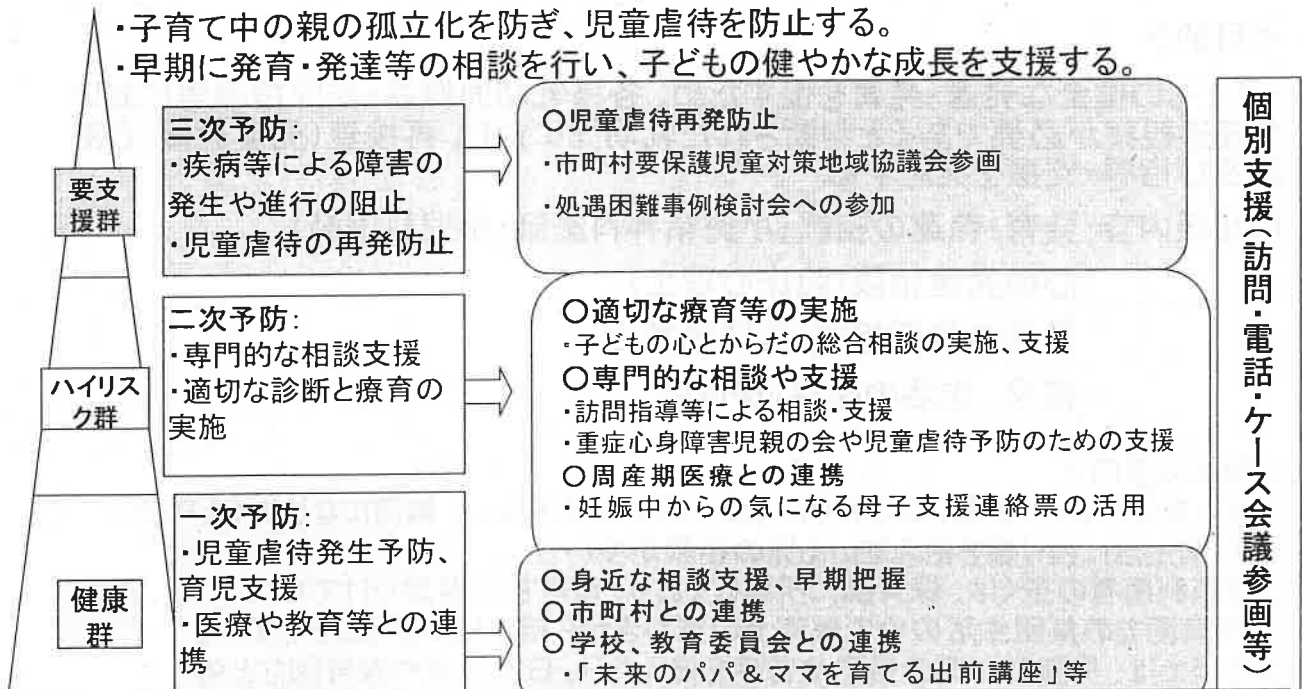


◆栄養士会と協働した食育SATシステムを活用した活動

市町村栄養士や病院栄養士等と連携して、体験型食育として、自分が普段食べている食事を選んで、取り過ぎや不足している栄養素を実感し、食事の改善を促した。

2. 保健所における母子保健の取組

- ・子育て中の親の孤立化を防ぎ、児童虐待を防止する。
- ・早期に発育・発達等の相談を行い、子どもの健やかな成長を支援する。



◆体制づくり等母子保健活動

- ・関係者で地域の母子保健事業の現状や課題等について情報共有し、対策を検討する。
- ・支援者の資質向上を図る。

- 母子保健評価事業 ○母子保健活動連絡会 ○周産期医療との連携会議
- 医療的ケア児の支援体制の検討 ○療育支援の検討会議 ○地域自立支援協議会 等

(1) 未来のパパ&ママを育てる出前講座

目的: 将来親となる中高生等の若い世代へ妊娠性をはじめ、妊娠、出産に関する正しい知識や、親になるための健康づくりについて理解を深めるために啓発活動を行う。
 ※妊娠性: 妊娠のしやすさ。高齢になると低下するとされる。

1. 企画調整

- ・管内の高等学校を訪問し、妊娠性や事業の主旨について担当教諭と意見交換。
- ・学校側の要望・意見・・・授業の中で取り上げることの難しいテーマ。

医療的な視点から学び、生徒自身が将来の自分や人生設計をじっくりと考える機会としたい。



2. 実施状況

(本所)

	開催場所	参加者	講師
平成29年度	美作大学	食物学科1年生	産婦人科医師
平成30年度(予定)	岡山県立津山東高等学校	1年生	助産師
	岡山県立津山商業高等学校	全校生徒	産婦人科医師
	岡山県作陽高等学校	1年生	産婦人科医師

(支所)

平成29年度	西粟倉村立西粟倉中学校	3年生	助産師
平成30年度(予定)	西粟倉村立西粟倉中学校	3年生	助産師
	美作市立大原学校	3年生	助産師

3. 講座後の感想、評価

- ・生徒: 「妊娠・出産への正しい知識を持つことが必要と感じた」、「妊娠する確率が低下するのは、意外に早いとわかった」
- ・学校: 性に関する話を、気持ちよく、はっきりと伝えてもらえ、大変良かった。
 生徒にとって、自分自身の将来のことを考える参考になったと思われる。

★今後も、学校や教育機関等と連携し、中高生等の「未来のパパ・ママ」を育てる活動を継続予定

11

(2) 子どもの心とからだの総合相談

<目的>

- ・子どもの健全な発達・発育を促すため、各種乳幼児健診・訪問指導等において経過観察が必要であると判断された乳幼児に対し、再検査(発達評価)と相談及び指導・支援を実施する。

○相談内容: 発育・発達の相談(小児精神科医師・小児科医師)

心の発達相談(臨床心理士)

言葉の発達相談(言語聴覚士)

育児、生活の相談(保健師)

<相談の傾向>

- 落ち着きがない・多動、こだわりが強い、指示が入らない、集団になじめないなど、日常生活に困り感を抱えている児の相談が多い。
- 相談利用者の多くは、保育園に所属しており、市町村の健診だけでなく、保育園での集団生活の中で保育士の気づきから相談につながることも多い。
- 相談では、保護者に児の得意や苦手を伝えたり、日常生活や保育園などの集団の場での対応方法についての指導を行っており、家庭や集団の場での支援に活かされている。



(3) 児童虐待予防活動

◆個別支援(家庭訪問、面接、電話)活動による支援

◆妊娠中からの切れ目のない母子支援

- ・産科医療機関からの「妊娠中からの気になる母子支援連絡票」により把握した、未婚、10歳代の妊娠、精神的な支援が必要等のハイリスク妊産婦や乳幼児の支援を市町村と連携し実施している

◆虐待ハイリスク家庭の支援について、関係機関との検討会の開催、参画

- ・児童相談所、市町村、医療機関等の関係機関が参画し、ハイリスク妊産婦や乳幼児の支援について定期的に検討している。検討会では、各機関が現状等を共有し、アセスメント、児童虐待を予防し子育てを支援するための方針や各機関の役割を検討している。

◆市町村要保護児童対策地域協議会への参画

(4) 小児慢性特定疾病対策の推進(医療費の助成)

○小児慢性特定疾病医療費支給事業

・目的

慢性的な疾病により、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全な育成を目的として、疾病の治療方法の確立と普及、患者家族の医療費の負担軽減につながるよう、医療費の自己負担分を補助する。(児童福祉法第19条の2～)

・対象疾病

16疾患群 756疾病(平成30年4月1日 35疾病追加)

◆医療費支給認定者数

保健所管内:103人

(H30年3月31日)

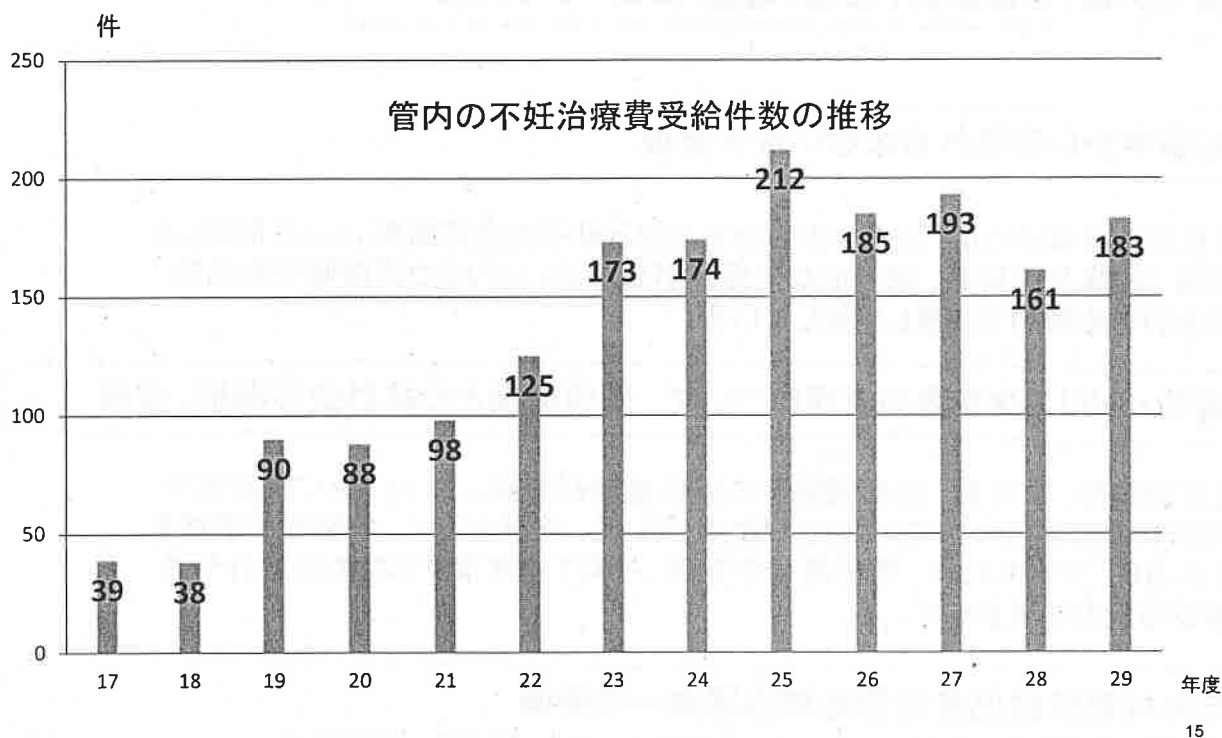
・保護者の負担

自己負担割合:2割(自己上限負担額まで支払う)

疾患群	
1 悪性新生物	9 血液疾患
2 慢性腎疾患	10 免疫疾患
3 慢性呼吸器疾患	11 神経・筋疾患
4 慢性心疾患	12 慢性消化器疾患
5 内分泌疾患	13 染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群
6 膠原病	14 皮膚疾患
7 糖尿病	15 骨系統疾患
8 先天性代謝異常	16 脈管系疾患

(5) 不妊治療の助成

○平成16(2004)年から開始された「不妊治療支援事業」は、不妊症のため子供を持つことのできない夫婦に対し、不妊治療のうち治療費が高額である医療費の一部を助成することにより、経済的負担を軽減し、不妊や不育症に悩む人への相談対応や不妊治療対策の充実を図ることを目的としている。



3 歯科保健の推進

◆歯科保健に関する連絡会議

第2次岡山県歯科保健推進計画に基づき、すべての県民が住み慣れた地域で明るい笑顔で過ごすことができる「8020健康長寿社会」の実現を目指す。

各地域において、地域住民、愛育・栄養委員等の地域関係者、歯科医師等を含めた関係機関の連携会議等を開催し、地域の課題に応じた歯と口の健康づくりを推進する。

◆実態調査等に基づく実践

実態調査等により課題を把握し、各ライフステージの課題に応じた歯と口の健康づくりに取り組む。

学齢期: 美作保健所・勝英支所管内: 平成26～28年度実施

高齢期: 美作保健所: 平成29年度～

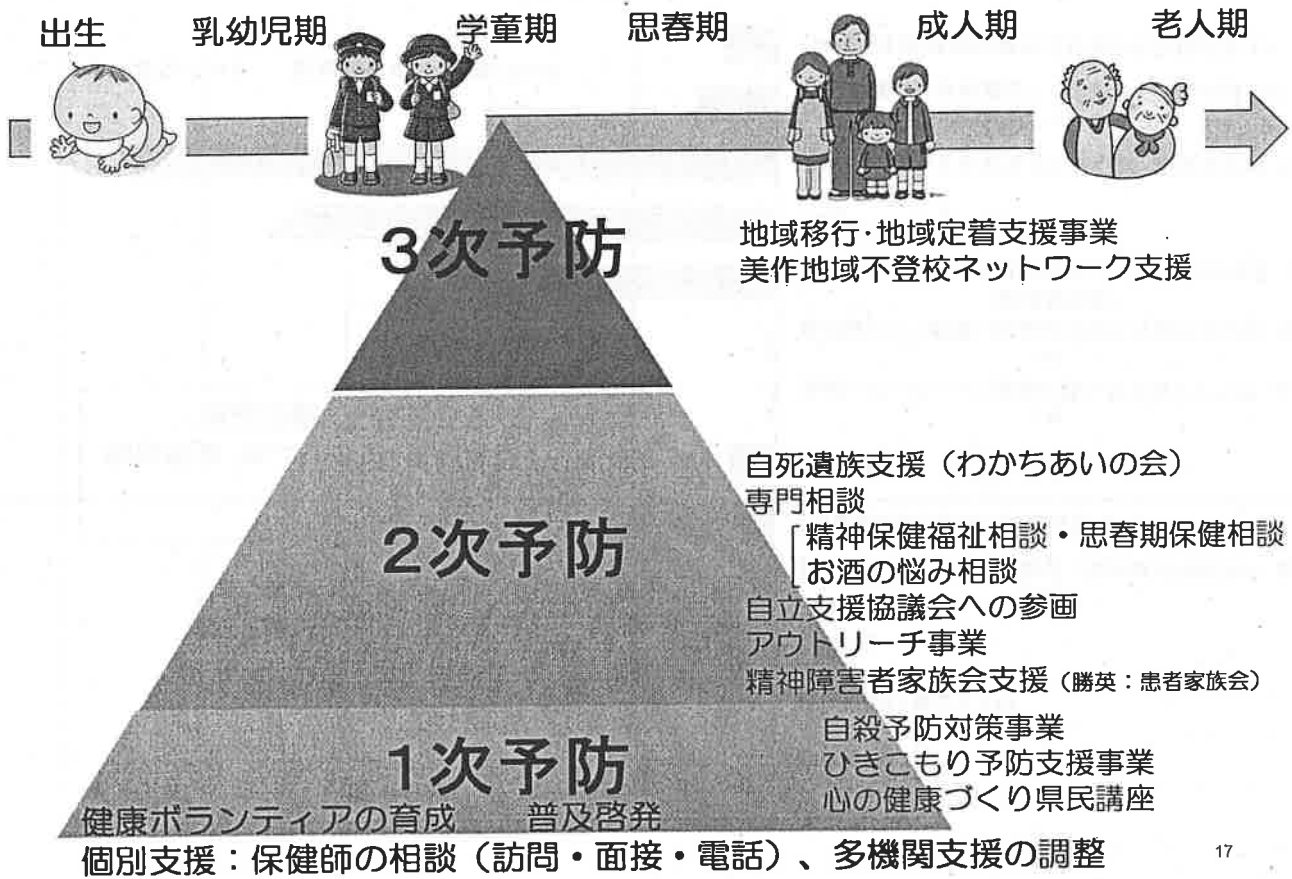


歯科保健関係者による会議



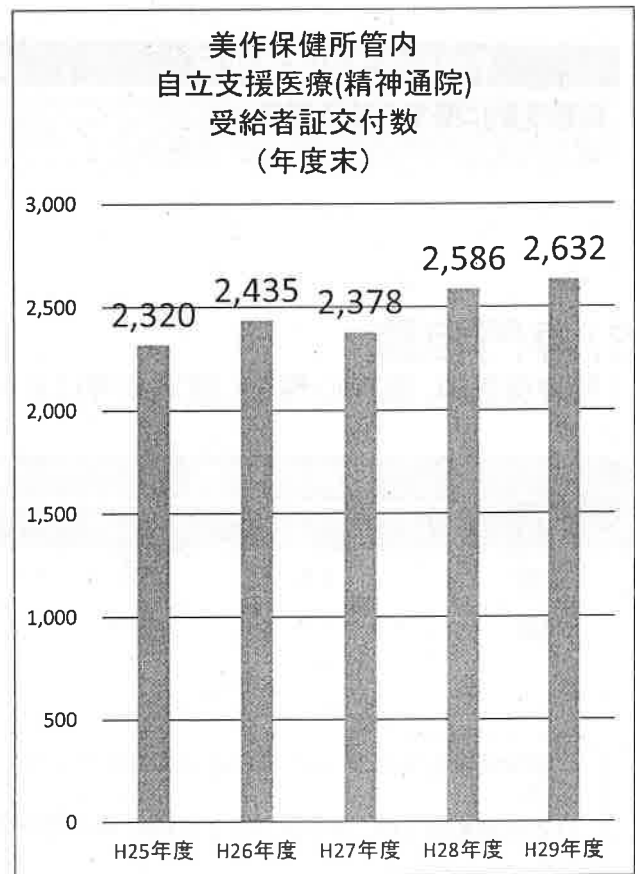
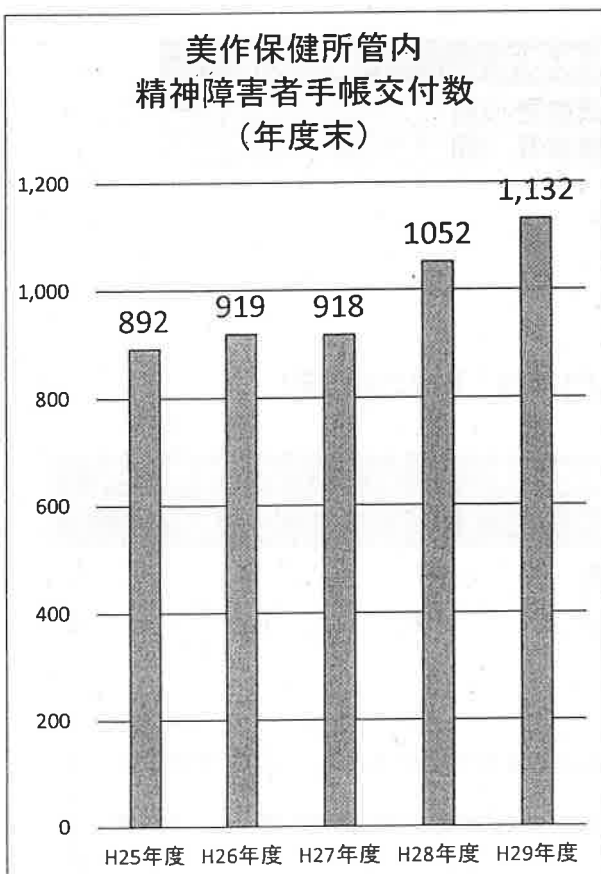
歯科専門職による出前講座

4 心の健康づくりの推進



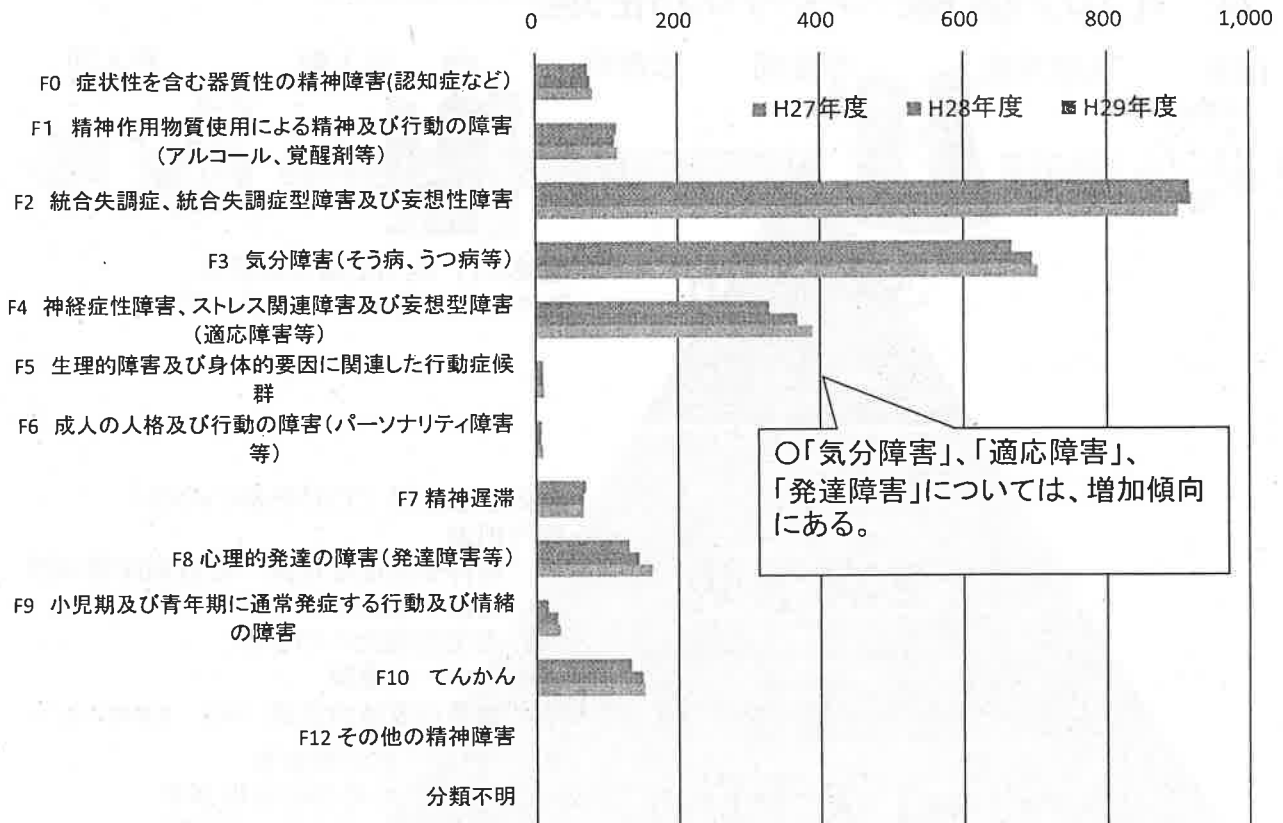
17

(1) 管内の精神保健福祉サービスの利用状況



18

自立支援医療(精神通院)の疾患別受給者数



19

(2) 普及啓発活動

平成29年度の実施状況	美作保健所	勝英支所
自殺予防に関する普及啓発	街頭啓発 2回 健康教育 3回	—

(3) 専門相談

精神科医師、臨床心理士、断酒会等による専門相談(平成29年度)

	精神保健相談		思春期相談		酒害相談	
	回数	延件数	回数	延件数	回数	延件数
美作	15	22	8	11	—	—
勝英	12	17	6	14	12	2

○精神保健相談では、20~50歳代のひきこもりや、単身の高齢者の心の不調等についての相談が多い。
○思春期相談では、不登校やひきこもり、対人関係の相談が多く、継続した相談が必要なケースが多い。

20

(4) 緊急対応の状況(平成24～29年度)

警察官からの通報件数

・「精神疾患のために、自傷他害の恐れがある」として、精神保健福祉法に基づき警察官から通報があった件数

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	合計
管内	36	29	24	22	14	22	147
本所	27	24	20	21	12	16	120
支所	9	5	4	1	2	6	27

<被通報者の背景>

- ・同居者がいる者の割合が高い。(78.9%)
- ・保健福祉サービスを利用していない者が多い。(74.1%)
- ・かかりつけ医があっても受診前に不調を来したり、治療中断により緊急対応が必要となっている。(67.3%)
- ・疾患別では、①統合失調症②気分障害③神経性障害、ストレス関連障害及び妄想性障害が多い。
- ・警察への110番電話は本人、家族が半数以上を占める。(55.1%)

☆必要な治療が継続でき、安心した生活を送ることができるよう、関係者と連携した対応や切れ目のない支援が必要

21

(5)「入退院にかかる支援の流れ」の作成及び活用(H27年～)

○退院後の安定した生活に向け、入院時から本人・家族、医療関係者や行政・相談支援事業所などの地域支援関係者で行う情報共有や支援のガイドラインとなる「入退院にかかる支援の流れ」を美作圏域で作成し、活用をすすめている。

<目的>

退院後も安全で安心な地域生活ができるよう、医療機関と地域の支援者が、入院直後から退院に向けた支援体制を構築し、退院後も継続した支援をする。

特に、急性憎悪、治療中断等の急性期の治療導入を速やかに行うこと、入院後、急性期から関わりを始めることとし、入院を繰り返す者の減少、在宅生活の期間の延長を目指す。

<対象>

- ①入院に地域支援者が係わった方
- ②治療中断の可能性が高い、服薬管理が必要、生活支援が必要等の理由により退院支援が必要な方

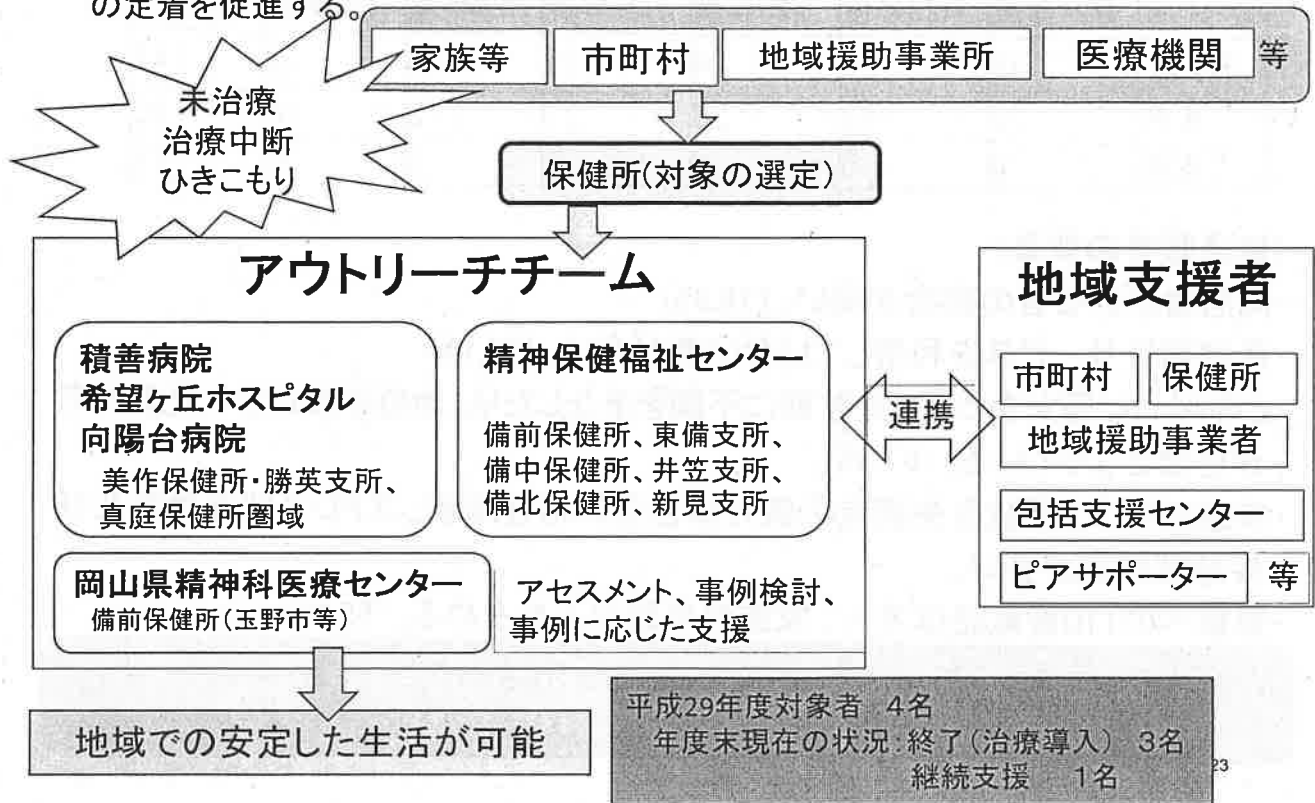
<個別支援の状況>

対象者29名(平成30年3月末現在:通院者15名、入院者14名)

22

(6) 精神科在宅支援(アウトリーチ)事業

目的: 精神科医師、看護師、精神保健福祉士、保健師等の多職種チームが、治療中断者や未受診者、ひきこもり等の治療契約困難な者に対し、訪問により治療導入や地域生活の定着を促進する。



(7) 地域移行・地域生活の支援

① 地域移行・地域定着支援事業

受け入れ条件が整えば退院可能な精神障害者の退院支援や地域生活支援への移行、移行後の地域生活を維持するための体制づくりに取り組んでいる。

平成29年度「美作県民局地域移行推進協議会」の開催 本所・支所合同 2回

② 心のバリアフリーの推進

平成15年度から勝英地域の精神障がいのある方・家族が「お互い支え合い、希望を持ち、将来安心して暮らせる勝英地域」を目指して実行委員会を設立し活動していた。

平成28年度からは、勝英地域自立支援協議会の中の「元気になろうや部会」として心のバリアフリーを推進している。

<平成29年度の主な活動>

ア 元気になろうや実行委員会の開催: 6回、延93人の参加

・元気になろうやフェスタ(地域交流事業)の開催

平成29年12月2日(土)

参加人数: 250人

イ 障がい者週間啓発活動

チラシ・ポケットティッシュの配布



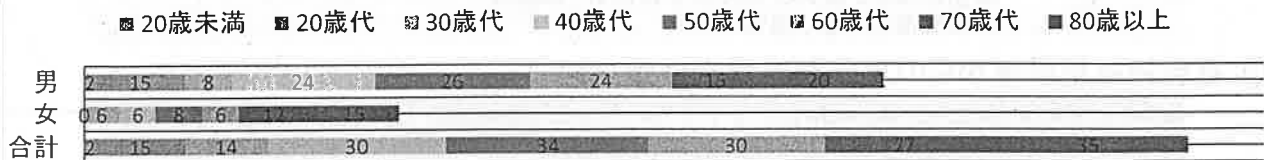
(8) 自殺対策

① 全国、岡山県及び管内の自殺者数(人口動態統計)

	美作保健所		岡山県		全国	
	自殺者数 (人)	死亡率 (人口10 万対)	自殺者数 (人)	死亡率 (人口10 万対)	自殺者数 (人)	死亡率 (人口10 万対)
平成24年	32	17.1	360	18.8	26,443	21.0
平成25年	33	17.8	340	17.8	26,063	20.7
平成26年	45	24.5	324	17.0	24,398	19.5
平成27年	37	20.3	346	18.2	23,152	18.2
平成28年	31	17.0	298	15.7	21,017	16.8

自殺者の49.2%が
60歳以上

管内の自殺者の年齢構成(自殺統計(H24~28年))



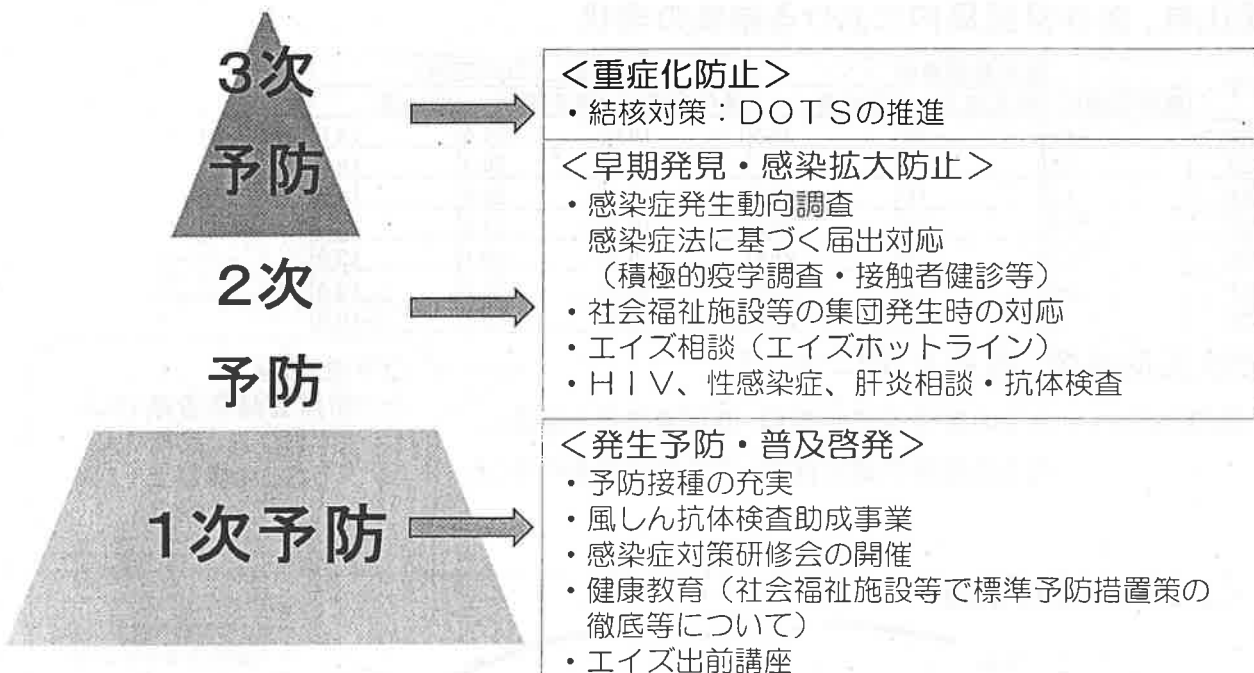
② 管内市町村での自殺予防の取り組み

「こころの健康相談」「こころの健康づくりの普及啓発活動」「ゲートキーパー養成講座」等

③ わかちあいの会(県内3保健所で実施)

自死遺族が体験を語り合うことを通して、悲しみや苦しみをわかちあい、ともに支え合うことで、心理的回復を目指す。平成29年度:年6回開催(延12人参加)

5 感染症対策の推進(保健所に関する業務)



<体制づくり>

- ・新型インフルエンザ等の新興・再興感染症対策
 新型インフルエンザ等医療提供体制の整備 美作地域連絡会議等の開催
- ・感染症全般に係る移送体制の確立
 感染症指定医療機関、消防署等を対象とした研修会の開催
- ・結核対策・医療連携の推進・・・津山中央病院・美作県民局連絡会議等の開催

個別支援:保健師の相談・他機関支援調整

(1) 感染症の状況 (H29年度 結核以外)

① 類別の発生状況

感染症別	感染症名	美作保健所	勝英支所
一類	—	0	0
二類 (結核以外)	—	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	18	1
四類	つつが虫病、デング熱、レジオネラ症	9	0
五類	アメーバ赤痢、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、急性脳炎、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、侵襲性肺炎球菌感染症、梅毒	15	

② 社会福祉施設等からの集団発生報告件数(件)

	感染症名	美作保健所	勝英支所
施設、病院等	感染性胃腸炎、インフルエンザ等	35	13

健康教育の実施

個人の感染症予防や学校、高齢者施設、社会福祉施設等での集団発生を予防するため、衛生課等と連携し感染症の流行期の注意喚起や、研修会を開催している。

- ・注意喚起: 腸管出血性大腸菌感染症注意報、インフルエンザ警報等
- ・研修会の内容: 感染症の基礎知識、標準予防措置策の徹底、発生時の対応等

27

(2) 結核の状況

① 岡山県、美作県民局内における結核の現状

年次	新規登録患者			罹患率(人口10万対)		
	美作保健所	勝英支所	岡山県	美作保健所	勝英支所	岡山県
H22	15	12	283	19.6	24.4	14.6
H23	23	14	311	16.4	28.7	16.0
H24	13	10	283	9.4	20.8	14.6
H25	14	13	232	10.2	27.3	12.0
H26	13	9	254	9.5	19.1	13.2
H27	14	11	235	10.4	23.7	14.4
H28	7	9	208	5.2	19.6	10.9

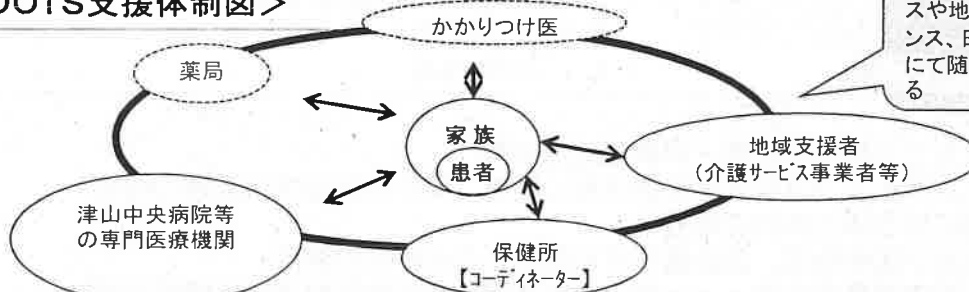
② 結核医療連携、患者支援について

「地域DOTS」→地域の医療機関や薬局、訪問看護等と連携し、患者の服薬完遂を目指して患者支援を行うこと

○平成28年

- ・新規登録患者数16人
(本所7人、支所9人)
うち、70歳以上11人
(68.8%)

<DOTS支援体制図>

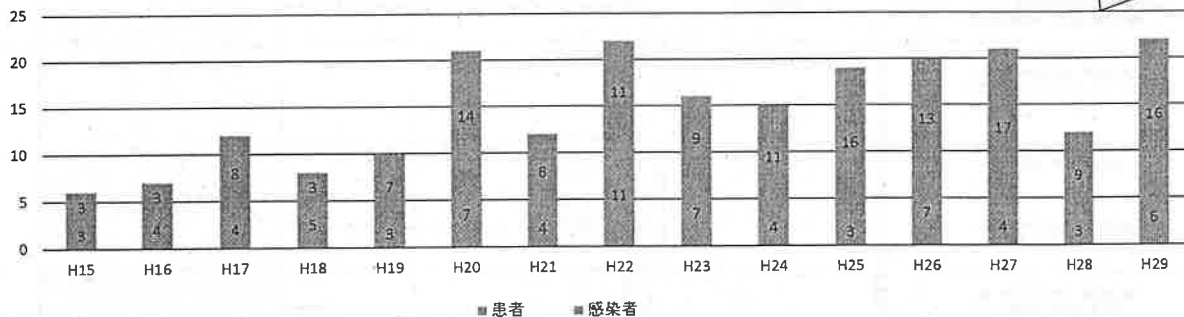


退院前DOTSカンファレンスや地域DOTSカンファレンス、日常的な情報交換にて随時連携を図っている

(3) エイズ・性感染症対策

感染者の
95%男性

HIV感染者AIDS患者岡山県の状況



①エイズ出前講座

「おかやまエイズ感染防止作戦」の一環として学校や地域の団体等へ専門講師等を派遣し、エイズ出前講座を行うことにより、エイズ等の正しい知識の普及啓発を推進し、まん延防止及び患者・感染者に対する差別や偏見の解消を図る。

平成29年度 6回、1,579人

②エイズ相談・・・県内各保健所・支所で電話、面接相談を実施

美作保健所に専用電話(エイズホットライン)を開設：平成29年度 94件

③HIV性感染症検査・・・県内各保健所・支所で無料の抗体検査実施

ウィンドウ期の確認、結果判明までの感染予防についての健康教育

平成29年度 HIV抗体検査：50件、性感染症検査：梅毒49件、クラミジア48件

29

(4) 新型インフルエンザ等対策

平成17年度 岡山県新型インフルエンザ等対策行動計画の策定

平成25年度 // 対策行動計画の改訂

平成26年度 // 対策ガイドライン作成（医療体制ガイドライン以外）

→ 美作保健所管内各市町村

管内市町村においても新型インフルエンザ等対策行動計画の作成

平成27年度 岡山県新型インフルエンザ等対策ガイドライン

「医療体制ガイドライン」の作成

平成28年度 特別措置法に基づく特定接種の登録申請受付

平成29年度 岡山県帰国者・接触者相談センターマニュアルの作成

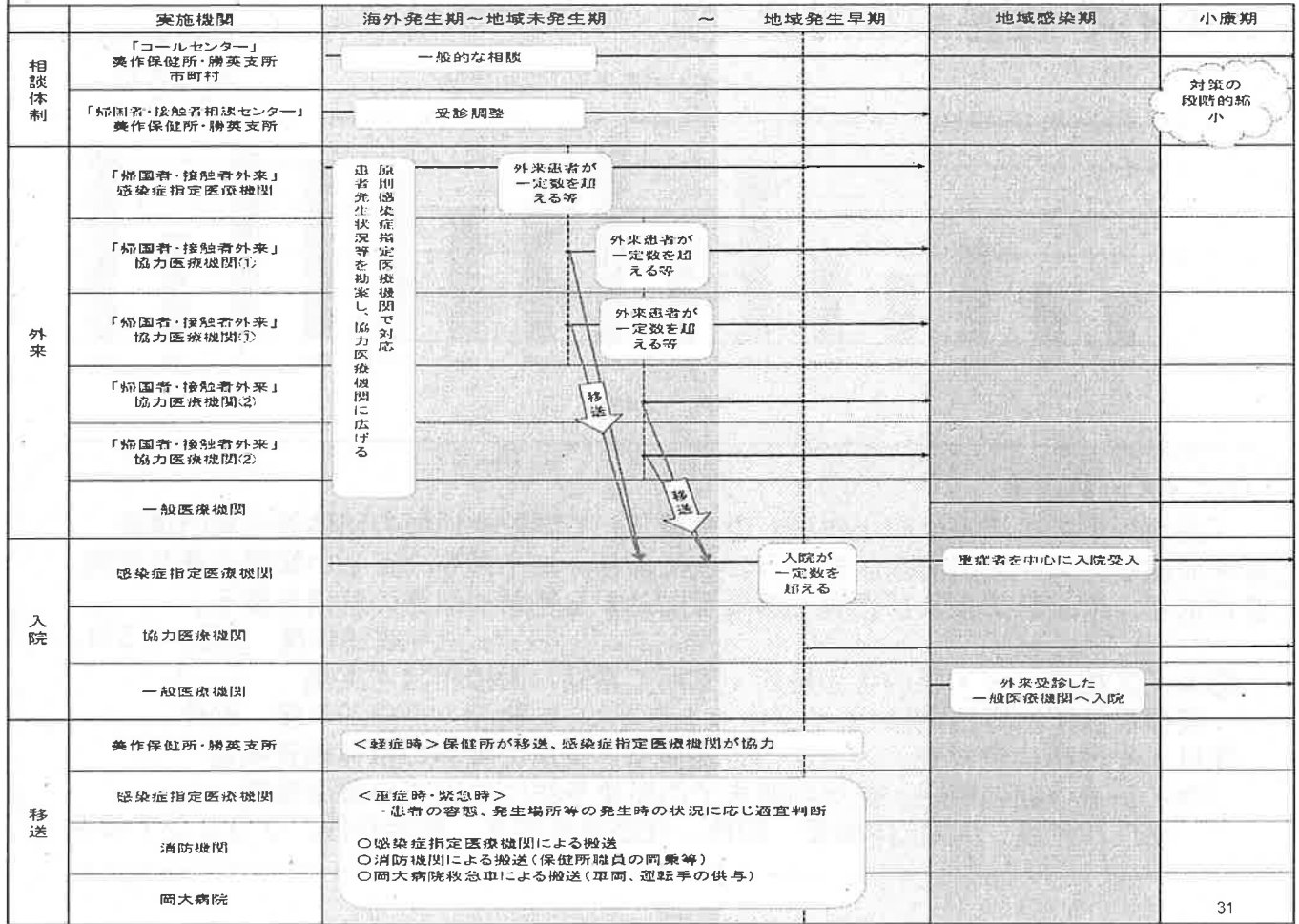
感染症患者等のネットワークに係る感染症対策研修会の開催

日時：平成29年11月15日

場所：津山中央病院

内容：協力医療機関「帰国者・接触者外来」における体制等の確認について
津山中央病院 感染症患者受入体制について

30



6 難病対策の推進・・・(1) 医療費の助成

「難病の患者に対する医療等に関する法律(平成30年4月1日施行)」により、指定難病は331疾患となった。

医療費助成制度では、指定難病「特定医療費」及び施行前に特定疾患治療研究事業の対象とされていた疾患で新法では指定難病にならなかった4疾患(特定疾患)を助成対象としている。

① 特定医療費(指定難病)受給者証認定者数(H29年度末)・・・対象疾患は330疾患

多い順	疾患名	人数
1	パーキンソン病	223
2	潰瘍性大腸炎	152
3	全身性エリテマトーデス	87
4	突発性拡張型心筋症	65
4	クローン病	65
	その他	791
	管内合計	1,383

② 特定疾患医療受給者証認定者数(H29年度末)

対象疾患:4疾患 管内12人
スモン(9人) 難治性肝炎のうち劇症肝炎(0人)
重症急性膵炎(3人) プリオン病(0人)

③ 災害時要援護者リスト・個別支援シートの作成

・難病患者や家族が安心して在宅療養生活を送るため、災害時に支援の必要となる難病患者を把握し、災害時要配慮者支援を担う市町村と情報共有し、必要な支援をおこなう。

リスト作成対象者

- ・電源を使用する医療機器を必要とする者
- ・筋萎縮性側索硬化症及び多系統萎縮症の患者
- ・自力での移動が困難な独居等、支援が必要と判断される者

(2) 地域における保健・医療・福祉の充実・連携

患者・家族の集い

① 医療福祉相談会・・・本所(3回19人)・支所(1回12人)

神経難病、整形外科、膠原病などの専門医や理学療法士などによる相談会

② 在宅難病患者・家族の集い・・・本所(2回21人)、支所(2回37人)

患者家族の交流会や病気の知識や介護の研修等・・・県内保健所・支所で実施



③ 在宅療養支援及び災害時の支援体制の取り組み

「災害時における難病患者等の行動・支援マニュアル」に基づき、市町村、医療機関、介護保険事業所等と連携して支援し、災害時の避難や治療継続について検討。市町村と連携し、市町村の災害時避難行動要支援者名簿の周知や個別計画の策定を推進している。

	美作保健所本所				美作保健所勝英支所				合計	
	津山市	鏡野町	久米南町	美咲町	美作市	勝央町	奈義町	西粟倉村		
医療費助成認定者数 (H30.3月)	720	89	40	124	267	76	55	12	1,383	
災害時要配慮者数 (割合%)	59 (8.2)	7 (7.9)	3 (7.5)	8 (6.5)	30 (11.2)	6 (7.9)	7 (12.7)	3 (25.0)	123 (8.9)	
再掲	個別支援シート作成者数	47	5	1	6	30	6	7	3	105
	市町村要配慮者名簿への登録者数	45	7	2	7	30	6	6	3	106
	市町村への情報提供の同意者数	28	1	0	1	0	0	0	0	30

33

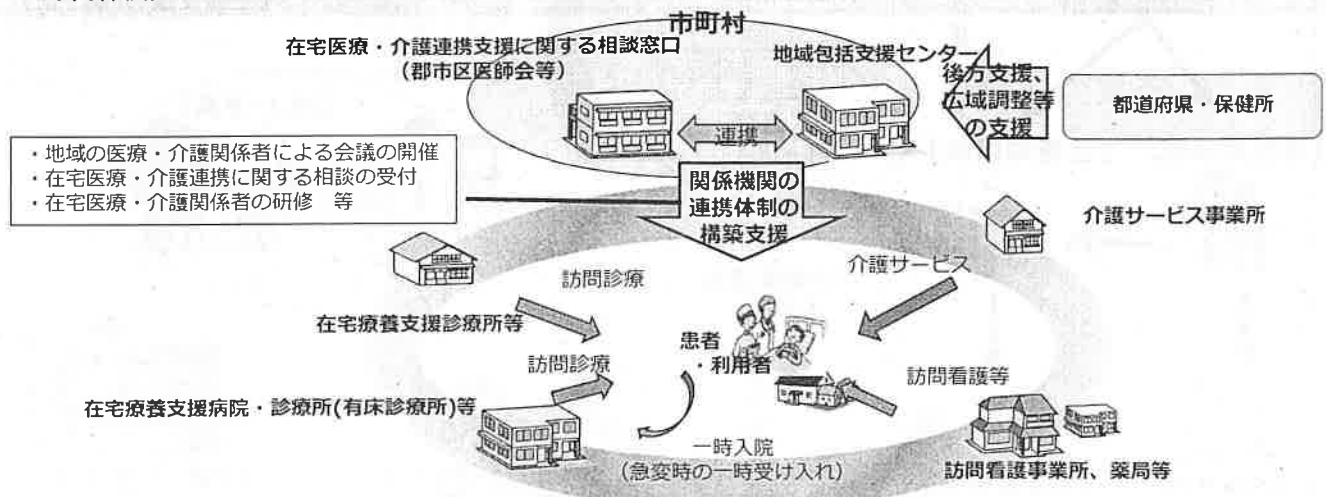
7 在宅医療・介護の連携の推進

- 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関(※)が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を行うことが重要。

(※)在宅療養を支える関係機関の例

- ・診療所・在宅療養支援診療所・歯科診療所等 (定期的な訪問診療等の実施)
- ・病院・在宅療養支援病院・診療所(有床診療所)等 (急変時の診察・一時的な入院の受け入れの実施)
- ・訪問看護事業所、薬局 (医療機関と連携し、服薬管理や点滴・褥瘡処置等の医療処置、看取りケアの実施等)
- ・介護サービス事業所 (入浴、排せつ、食事等の介護の実施)

- このため、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するため、都道府県・保健所の支援のもと市町村が中心となって、地域の医師会等と緊密に連携しながら、地域の関係機関の連携体制を推進する。



34

＜津山・英田圏域の在宅医療を取り巻く現状・課題等＞

- 1 団塊の世代が後期高齢者となる平成37(2025)年には、高齢化率が、35.7%なると予想されている
- 2 医師・看護師等医療従事者が不足し、また高齢化している
- 3 医療が必要な中重度の要介護者等については、在宅医療と介護サービスの充実と連携が必要である

【参考】

○自宅で亡くなった方の割合（平成27年：圏域9.2%、岡山県10.7%、全国12.7%）

→「津山地域の在宅医療推進事業」

◆津山・英田圏域の在宅医療の推進のため、医療関係者が協働して連携する推進体制を構築する。

○事業内容

- 1 在宅医療推進のための実務者会議
「美作地域の看護師確保」、「住民への普及啓発」の部会を設置し、在宅医療を推進するための取り組みの企画、運営を行う。
- 2 交流会・研修会
1) 美作地域の看護職員等の交流会
2) かかりつけ医の普及啓発講座
- 3 美作地域の在宅医療推進会議等
地域の課題分析等に関する研修会、情報交換等を行う。

